

笑顔とがんばりの町

おのまち 議会だより



町民・議会懇談会 皆さんの声を町づくりに

小野町議会では、より多くの皆様に議会活動を知っていただくとともに、広く意見を聴く機会を設けるため、本年度より町民・議会懇談会と名称を変更して開催しました。10会場で総勢117名の皆様にご参加いただきました。

主な内容

懇談会での意見……………2・3 懇談会での意見・あしがき……………4

懇談会でのご意見などの内容

◆公共施設整備について

- 役場庁舎はシンボル。補助があるうちに建設を進めて欲しい。
- 町の顔としての役場庁舎を建設する時期に来ているのではないか。
- 役場庁舎を最重要施策として欲しい。
- 役場庁舎の駐車場や入口道路が狭い。
- 現在の温浴施設では狭すぎる。谷津作の温泉源を活用しないのはもったいない。
- 集会施設のトイレの洋式化・水洗化できないか。
- 多目的研修集会施設の壁面の汚れ（水垢）が気になる。
- 認定こども園が優先的に整備されると聞いて安心した。
- 認定こども園整備の情報が伝わっていない。計画の途中でも伝えて欲しい。
- 道の駅の構想はあるのか。どのように考えているのか。

◆企業誘致について

- 広い土地を先行取得しておき、企業から要望があればすぐに造成できるようにしておいてはどうか。
- 企業誘致は行っているのか。従業員は集まっているのか。

◆インシシ対策について

- インシシ駆除用の箱ワナを町で購入して貸し出して欲しい。

◆上水道・こまちダムについて

- 水道料金が県下一高いと聞いたが、なぜ高いのか。
- こまちダムの浄水場は使用されていないのか。
- こまちダムに公衆トイレを設置できないか。



◆人口増加策について

- 若者を外から呼び込む方策は考えられないか。
- 町有地を大規模に宅地造成して、無償又は安価に販売するなど思い切った施策を促進してはどうか。
- 同居家族を増やすための支援をすることも一つの方法ではないか。

◆農業について

- 農業法人での営農や農協等が主体となって営農を行うことについてどのように考えているのか。
- 水田政策が変わるといふ話があったが、遊休地の問題は深刻である。
- 現在、農地を無償で借りてもらっている。農地のままでは借り手がない。
- 稲作の研究によりブランド化を図る必要がある。
- 農業は経営が成り立たないと後継者不足も深刻になる。
- 小野町独自の地酒を製造してはどうか。



◆バス運行について

- 小野新町・右川間のバスが運行されているが乗客が少ない。バス路線が廃止とならないようにスクールバスとして利用できないか。
- 小野新町小学校まで家用車で送迎するが、非常に混雑して迷惑もかけているが、改善策はないか。

◆小・中学校について

- 学校給食の無料化についてはその後どのようなになっているのか。
- 小学校統合の際に、体操着など保護者の負担とならないようにして欲しい。
- 小野新町小学校を仮校舎とするの話があったが、いつまでかを明確にして進めていただきたい。
- 小学校を統合する際に、小中一貫教育にしてはどうか。

このほかにも、公立小野町地方総合病院に関する事など多数のご意見をいただきました。皆様からいただきましたご意見については、今後の議会活動に反映していきます。

◆トイレについて

- 小野新町駅前にトイレの整備はできないか。
- 公園や各地区にあるゲートボール場に健康器具を設置してはどうか。
- 町内の電柱を地中化できないか。
- 今後も市町村合併はしないのか。



三川集落センター(10月18日)



小野町役場(10月16日)

◆視察研修(行政調査)について

- 視察に大規模な所に行っているが、どういう研修か。
- 町民に何らかの形で還元して欲しい。
- 小野町に持ち帰って取り入れられるような施策はあったか。

◆企業との関わりについて

- 議員と企業との対話会は、開催しているか。企業の実況把握はどのようにしているか。

◆町民・議会懇談会の周知方法等について

- 町民議会懇談会を開催しても参加者少ない。関心が無いのか。
- 新聞折込による周知であったが、行政区へ全戸配布したほう良いのではないか。
- 懇談会の意見については公開すべきではないか。

◆他町村議会との交流について

- 他町村議会との交流を通じて、他町村との小野町の違いなどをどのように感じているのか。

おのまち 議会だより

【班 構 成】

A 班	吉田 康市	遠藤 英信
	水野 正廣	籠田 良作
	宗像 芳男	会田 明生
B 班	村上 昭正	佐藤 登
	久野 峻	田村 弘文
	竹川 里志	渡邊 直忠

【開催日と開催場所】

※開催時間は各会場、午後7時です。

開催日	開催場所	担当班	参加者数
10月16日(月)	谷津作地区研修センター	A班	25名
	小野町役場	B班	7名
10月17日(火)	小野町多目的研修集会施設	A班	2名
	雁股田地域活性化拠点施設	B班	9名
10月18日(水)	三川集落センター	A班	18名
	吉野辺集落センター	B班	4名
10月19日(木)	小戸神集落センター	A班	7名
	上羽出庭地区農村研修センター	B班	13名
10月20日(金)	塩庭多目的集会施設	A班	11名
	湯沢転作促進研修センター	B班	21名

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報広聴特別委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

●あしがき●

特集号では、町民・議会懇談会でいただきましたご意見を掲載いたしました。今後の議会の政策提言につなげて参ります。貴重なご意見ありがとうございました。

小野町議会では、「議会広報広聴特別委員会」を設置しました。これまでの広報委員会活動に加え、特に公聴機能の強化により、町民皆様との情報共有に力を注ぎ、皆様の声を更に議会活動に活かして参る考えです。どうぞよろしくお願ひします。

間もなく小野町にも春の息吹が届く季節かと思いますが、まだまだ寒い日が続きます。町民の皆様、ご自愛ください。

小野町議会議長

村上 昭正



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会

検索

小野町議会のホームページもご覧ください

平成30年
2月13日発行

特集号

発行者／福島県小野町議会
編集／広報広聴特別委員会

〒0903-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻2

☎0247-72-2111